白南風小学校　学校だより
令和５年４月１９日号
しらはえっ子
校長　三代　直正
やさしさいっぱいの子　やる気いっぱいの子　元気いっぱいの子

１学期始業式　代表児童の決意発表から…

４月７日に着任式・始業式を行いました。

着任式では６年生の児童が、着任された先生方に対して歓迎の気持ちを伝えました。

始業式でも６年生の児童が、１学期の決意発表をしました。その時に発表した作文を紹介します。

『私が白南風小学校に転入してきて１年たちました。初めのころは、ぜんぜん何が何だかわからず、いろいろと困っていました。しかし、今ではそんな困っている人を助けることができる、新６年生になることができました。

私は、６年生になって、努力したいことが３つあります。

まず１つ目は、下級生にやさしく接してあげることです。やさしく接して、親しみをもってもらえば、相手も安心して困っていることを打ち明けてくれるからです。やさしくたよりがいのある６年生になりたいです。

次に２つ目は、ルールを守ることです。自らルールを守り、もはんとなる姿を見せることで、学校全体に良いえいきょうを与えたいです。

最後に３つ目は、最高学年として自分から積極的に動くことです。例えば、話し合いの場で何か決まらないことがあったときには、自分から意見を示してみんなの役に立ちたいです。

白南風小学校を引っぱっていく「6年生」というバトンを受けついだ私たちは、これからその責任を完ぺきに果たせるよう、しっかりと前へ進んでいきたいと思います。そして、来年再来年と、このバトンを下級生たちにしっかり渡せるように、まず、私たちがそのもはん的な姿になれるよう、この３つの目標を意識して過ごしていきたいです。』

とても頼もしい作文を発表してくれました。最上級生になったという喜びだけでなく自らしっかり白南風小学校を引っぱっていくという意欲が伝わってきました。

また、３つの目標「やさしさ」「ルールを守る」「自分から動く」は、今の学校で、いや社会でも必要なことと言えるでしょう。このことに気づいている白南風小学校の６年生。素晴らしいとしか言いようがありません。

特に「自分から動く」⇒「主体性をもって物事に取り組む」ことについては、今の教育の課題となっています。子どもたちが「自分から動く」ことができる環境を作りたいと思います。

着任式始業式の子どもたちの様子を見て、「**話をしっかり聞けるなあ**」と感心しました。

とても大切なことができている白南風小学校の子どもたち、更に成長してほしいです。

１年生が入学してきました　毎日、元気にがんばっています！

４月１１日（月）令和５度佐世保市立白南風小学校の入学式を行いました。

令和５年度入学の１年生は、４１名です。新入生紹介では、担任の先生の呼名の後にしっかりと返事ができました。伝統ある白南風小学校の仲間入りです。

体育館内の密を避けるために入学式に参加した在校生は５・６年生だけでした。２年生から４年生は、体育館とオンラインで結んだライブ映像を教室で見ました。

翌日からは、ランドセルを背負っての登校がはじまりました。登校した後は、たくさんしなければならないことがあるので大変です。ランドセルの中の教科書を机の中に入れたり、連絡帳を先生に出したり…。そこでしばらくは、６年生が朝からお手伝いをしています。１年生ができるだけ自分でできるように優しく教えています。さすが６年生です。早く終わった子は、６年生と楽しくおしゃべりもしていました。

１８日（火）には、給食も始まりました。献立は、ごはん・牛乳・チキンカレー・フルーツカクテルでした。昨日は最初の給食なので６年生が手伝ってくれました。１年生の気持ちになって丁寧に教えてくれる６年生の姿は、白南風小学校のよいお手本です。１年生にとって、小学校最初の給食で食べたカレーは、忘れられない味になったことでしょう。

１年生が入学して以来活躍している６年生。「かがやくリーダーに」を合言葉に開催した４月７日の始業式後の学年集会での話合いがこの素晴らしい行動に影響しているようです。

か（感謝・体づくり）**が**（がんばる・学力）**や**（優しい心）**き**（気づく・決まり）今日は、特に「優しい心」「気づく」を実践してくれました。今後も様々な場面で６年生の力を発揮してほしいです。期待しています。